

令和4年6月14日

連絡先

公益財団法人三重県文化振興事業団
三重県文化会館 事業課
(担当者) 小玉 僚子・南谷 雄司
(電話) 059-233-1112
(FAX) 059-233-1106

展覧会「とびだせ！みえの絵本作家たち展2022」 開催のご案内

2011年に開催し、好評を博した展覧会「みえの絵本作家たち展」を11年ぶりに開催します。三重県からは数多くの絵本作家が生まれていますが、そんな絵本作家を育む豊かな環境があることは、あまり知られていません。

この展覧会では、三重県発の絵本文化を広く知ってもらい、それが地域的なものにとどまらず、全国的な広がりネットワークを持っていることを紹介します。また、その絵本文化を支える人たちを知り、今活躍している絵本作家や、今まさに飛び立とうとしている新人絵本作家たちの創作活動を通じて、来場者と出展者が楽しみながら交流できる展覧会です。絵本の世界を観て、体験して、遊びつくす、“絵本のお祭り”に是非お越しください。

- <事業名> とびだせ！みえの絵本作家たち展2022
- <日程> 令和4年7月16日(土曜日)～31日(日曜日) 10時～17時
※19日(火曜日)・25日(月曜日)は休館
- <会場> 三重県総合文化センター 三重県文化会館 第1・第2ギャラリー
三重県津市一身田上津部田1234
- <問合先> 三重県文化会館 電話059-233-1122
- <入場料> 500円(高校生以下無料) フリーパス券1,000円
- <主催> 公益財団法人三重県文化振興事業団
- <企画制作> 子どもの本専門店メリーゴーランド(絵本塾・あそびじゅつ) 合同会社第七劇場
- <協賛> くもん出版・講談社・ゴブリン書房・大日本図書・徳間書店・白泉社・BL出版・風濤社・ブロンズ新社・山画廊
- <助成> 公益財団法人岡田文化財団

【展覧会の詳細について】 絵本展だけど、原画をみせるだけの原画展にはしたくない

同展覧会総合プロデューサーの、増田喜昭さんのこの言葉の通り、今までの絵本原画展の枠を飛び出した、新しいカタチの展覧会です。

いつも出展作家の誰かが、ここだけでしか見ることのできない作品を用意して、あなたの訪れを待っている。作家とともに、交流しながら絵本の世界を体験できる。そんな、他にはないような現在進行形の、“交流する展覧会”を目指します！

また今回は、三重県津市を拠点に国内外で活躍する劇団、第七劇場の協力のもと、絵本をもとにしたお芝居の上演もあります。絵本の世界がどのように立体化されるのかも、見どころの一つです。

<出展作家>

彩村あやこ、石川基子、大畑いくの、おざわよしひさ、きたあいいり、木立和、こじましほ、コマヤスカン、榊原悠介、佐藤ゆうこ、すけのあずさ、たかはしなおこ、つつみあれい、中尾吾郎、はっとりひろき、服部美法、本間希代子、ますだかな、ゆうじよう、スズキコージ（応援団長）

<展覧会の特徴>

展覧会の目玉は、【絵本作家のお祭り】【スズキコージの「ニューコージランド展」】【絵本をもとにした第七劇場と百景社のお芝居】の3つです。

1つ目は、県内ゆかりの絵本作家や、絵本作家を目指す人などの屋台が建ち並ぶ【絵本作家のお祭り】。各出展者が1軒ずつ屋台を担当し、自作の絵本やイラスト、雑貨も含めて、自由に展示してもらいます。イメージとしては、にぎやかな台湾の夜市。個性溢れる作家たちの屋台をのぞき、楽しみながら絵本文化に親しんでもらう、体感型展覧会です。子どもが1人でも参加しやすいプログラムが多数ありますので、子連れの方にもおすすめです。この屋台のエリアでは、スズキコージさんデザインの専用通貨「コージ」を使ってお買い物をしたり、遊んだりすることができます。他にも、絵本作家によるワークショップやギャラリートークが開催されたり、絵本を作る工程を体験できたりと、楽しい交流が待っています。

2つ目は、『サルビルサ』『やまのディスコ』『エンソくんきしゃにのる』等の作者で、本展の応援団長を務める、絵本作家スズキコージさんの作品を展示する【ニューコージランド展】。絵本だけでなく、立体作品や大きな布絵など、多くの作品とともに、全力で三重の作家を応援してくれます！スズキコージさんは、ギャラリートークにも出演予定。また、ライブペインティングも開催します。

3つ目は、【絵本をもとにしたお芝居】です。三重県津市・茨城県土浦市をそれぞれ拠点に活動している、第七劇場と百景社が、絵本を立体化した作品をつくりました。土曜日・日曜日・祝日には20分程の作品を上演する予定です。どんな風に絵本の世界を表現するのか、お楽しみに。

<プロフィール>

・増田喜昭（子どもの本専門店メリーゴーランド店主）

同展覧会総合プロデューサー。1976年、三重県四日市市に子どもの本専門店「メリーゴーランド」を開く。第一線で活躍する作家・画家・編集者などを招き、子どもと、子どもの本を考える「レクチャー」を月に一回開催している。また、プロの絵本作家・童話作家の養成ワークショップ「絵本塾」「童話塾」を主宰。最新著書は『えほん・絵本・134冊』（学研）。

・第七劇場

1999年、演出家・鳴海康平と数名の俳優によって設立。国境を越えることができるプロダクションをポリシーに、日本各地のみならず、国際演劇祭への作品出品など、国内外で公演。言葉の物語のみに頼らず空間や身体とともに多層的に作用する表現が評価される。国内外のフェスティバルなどに招待され、これまで国内20都市、海外4ヶ国9都市（フランス・ドイツ・韓国・台湾）で作品を上演。2006年、劇団ユニークポイントとともに都内にアトリエ（atelier SENTIO）を構え、2013年まで東京を拠点に活動。2014年、東京から三重県津市美里町に拠点を移設。Théâtre de Bellevilleのレジデントカンパニーとなる。現在は三重県、関東圏、愛媛県の多地域在住のカンパニーメンバーで構成。

【関連企画について】

期間中は毎週開催、毎日通いたくなる多彩なイベント！

《応援団長スズキコージさんによるライブペインティング》（申込不要・入場料のみでご覧頂けます）

- ① 7月22日（金曜日）13時～17時
- ② 7月23日（土曜日）13時～17時
- ③ 7月24日（日曜日）10時～15時

《絵本作家によるワークショップ》（事前申込制）

- A** つつみあれい『きのこ帽子をつくろう』
7月16日（土曜日）13時30分～15時00分
（対象4歳～小学6年生 / 定員15名 / 材料費500円）

- B** 榊原悠介『30mの大物絵巻を描こう』
7月17日(日曜日)10時30分～12時30分
(対象4歳～小学6年生 / 定員15名 / 材料費500円)
- C** 大畑いくの『動くおもちゃをつくろう』
7月24日(日曜日)10時30分～12時
(対象4歳～小学6年生 / 定員15名 / 材料費500円)
- D** 中川たかこ(創作絵本教室主宰) 絵本作りワークショップ
7月24日(日曜日)13時30分～16時30分
(対象中学1年生～大人 / 定員15名 / 材料費1000円)
- E** こじましほ『つくったハンコでうちわを作ろう』
7月30日(土曜日)14時00分～15時30分
(対象4歳～大人 / 定員15名 / 材料費500円)

《第七劇場によるお芝居》協力：百景社(申込不要・入場料のみでご覧頂けます)

- ① 7月16日(土曜日)13時00分～13時30分 第七劇場「サーカスのライオン」原作:川村たかし 演出:油田晃 出演:小菅紘史
- ② 7月18日(月曜祝日)13時00分～13時30分 第七劇場「サーカスのライオン」原作:川村たかし 演出:油田晃 出演:小菅紘史
- ③ 7月18日(月曜祝日)15時30分～16時00分 第七劇場「サーカスのライオン」原作:川村たかし 演出:油田晃 出演:小菅紘史
- ④ 7月23日(土曜日)13時00分～13時30分 百景社「100万回生きたねこ」原作:佐野洋子 構成:演出:志賀亮史 出演:鬼頭愛、山本晃子
- ⑤ 7月23日(土曜日)15時30分～16時00分 百景社「100万回生きたねこ」原作:佐野洋子 構成:演出:志賀亮史 出演:鬼頭愛、山本晃子
- ⑥ 7月24日(日曜日)13時00分～13時30分 百景社「100万回生きたねこ」原作:佐野洋子 構成:演出:志賀亮史 出演:鬼頭愛、山本晃子
- ⑦ 7月30日(土曜日)11時00分～11時30分 第七劇場「白雪姫」原作:グリム兄弟ほか 構成:演出:鳴海康平 出演:石井萌水、河村若菜
- ⑧ 7月31日(日曜日)11時00分～11時30分 第七劇場「白雪姫」原作:グリム兄弟ほか 構成:演出:鳴海康平 出演:石井萌水、河村若菜

《増田喜昭(子どもの本専門店メリーゴーランド店主)のギャラリートーク》

(申込不要・入場料のみでご覧頂けます)

出展作家や、編集者の松田素子さん、第七劇場 代表・鳴海康平さんらと、総合プロデューサーの増田喜昭さんが、絵本について語ります。

- ① 7月16日(土曜日)10時30分～12時00分 【鳴海康平『演劇と絵本』】
- ② 7月17日(日曜日)13時00分～14時30分 【松田素子『絵本作家になるために』】
- ③ 7月18日(月曜祝日)10時30分～12時00分 【服部美法『「おふくさん」ができるまで』】
- ④ 7月23日(土曜日)10時30分～12時00分 【スズキコージ『ニューコージランドってなんだ?』】
- ⑤ 7月31日(日曜日)14時00分～15時30分 【参加アーティストが大集合!『絵本のこれから』】

※都合により、内容等の変更の場合があります。

<ワークショップ申込方法>

A～**E**のワークショップは事前申込制です。

<申込方法> 郵送・FAX・ホームページ申込フォーム・又は窓口にて必要事項を明記の上、お申し込みください。

<必要事項> 希望ワークショップ名、名前、年齢、住所、電話番号

<申込期限> 6月25日(土曜日)必着

※お申込みの結果は、書面にてお知らせします。応募多数の場合は、抽選となります。ご了承ください。

<申込・問合せ先> 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

■三重県文化会館 絵本展係 (TEL 059-233-1122、FAX 059-233-1106)

■ホームページ申込フォーム <https://www.center-mie.or.jp/bunka/ehon>

ご不明な点は下記までお気軽にお問い合わせください

【お問い合わせ】 (公財) 三重県文化振興事業団

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234 三重県文化会館 事業課 (担当:小玉・南谷)
TEL 059-233-1112 FAX 059-233-1106 E-mail/ kodama@center-mie.or.jp(小玉)